

# 平成 30 年度 ともがき事業報告

## I. 職員異動状況

入職 デイ 栄養士 パート1名 看護師 パート1名  
異動 デイ 看護師 正職1名 (こころへ)  
退職 デイ ケアワーカー 嘱託1名 パート1名  
入浴 看護師 正職1名 パート1名  
入浴 ケアワーカー 嘱託1名 パート3名

## II. 地域（大石区）の取り組みを知り、参加する。

- ① 大石ボランティアの年間行事を決めるにあたり大石区福祉運営部会三役と話し合う。その中で毎月一日に開催している地区高齢者集会「一日会」の取り組みを知る。ともがき事業所を提供できることを伝え、12月1日の開催をともがきにて実施することができた。参加をしていただいた大石区の方から、『初めてともがきの建物に入った』という話や、パワーリハビリの器具に実際にふれて実施してみても興味を示して頂くことが出来ており、まずはともがきを知って頂く機会となった。今後も地域の方にともがきを知って頂く機会を作っていきたい。
- ② 大石区との繋がりの機会として、地区運動会への参加を計画したが、雨天中止となる。改めて大石区長のご自宅に伺いご挨拶をした。大石区三役がボランティアとしてともがきに来所した際に、館内見学及びデイサービスの概要説明を行う。ちいさがた福祉会として地域との繋がりを大切にしていきたい旨をお伝えした。今後、地域の皆様との顔の見える関係を築く為、地区行事に参加できるようお願いをした。
- ③ 9月22日に大石区で開催された敬老会にともがき劇団として参加。大石区の区長への挨拶や、大石区福祉運営部会の方々との繋がりに、声をかけて頂いた事で地域の中に参加をする機械を頂くことが出来た。まずは自分たちから繋がりを持つことで、地域の方々に話しかけて頂きやすいちいさがた福祉会ともがきとなるようにつなげて行きたい。

## III. 居宅支援専門員との連携を図る。

利用者様の状態に変化が見られた際にこまめに介護支援専門員との連絡を取りました。その際介護支援専門員から利用者様の意見や思いを伺う機会となり早急かつ柔軟に対応することが出来た。

## IV. 訪問入浴事業実施地域の規模縮小

訪問入浴事業は軽井沢、御代田町、佐久市、立科町、青木村と広い地域にまたがっており、職員に過度な負担を強いる体制であった。職員の配置、経費についても主事業であるデイサービス事業と混在している状態にあり、法人として幹部会議で事業の見直しを実施。実施地域の



縮小については、事前に茅野常務理事と各居宅支援事業所に周り利用していた方に出来る限り負担とならないよう進めることができた。9月より東御市、上田市、小諸市と実施地域を東御市周辺にする事でより地域に根ざした事業とし、職員配置、経費面についても改善を図る事が出来た。

## V. 人材育成

小林茂夫施設運営・人材育成アドバイザーによる職員面談、研修会の実施。職員個々の責任で動くのではなく職員全員で協力することができるようになり結果として事故や苦情の減少へと繋げることができた。

法人全体職員研修への参加を通し法人として一貫した人材の育成を実施する事が出来た。また法人全体で取り組んでいる人事考課制度の改正により、働く職員が求められる知識や技術についても明確にすることが出来た。